

大平町内会 自主避難計画

当町内会では、住民全員が**雨の量**や**周辺の様子**に注意し、地域で避難開始を判断して住民全員で避難する仕組みをつくりました。以下の項目をみんなで実践しましょう。

① 日頃からやっておくこと

- 洪水・土砂災害緊急避難地図（中面）を参考に、**大雨が降ると確認されるいつもと違う現象**や、自宅周辺の**比較的安全と思われる場所や建物**、**避難経路**、**住民間の連絡方法**を確認しておきましょう。
- カップ酒の瓶などを用いて、雨量を計測する習慣をつけておきましょう。

② 雨が降り始めたら、自宅周辺の状況に注意を払う

- 土砂災害が起こる目安の雨が降っていないか、家の外の様子を確認しましょう。（※ **1時間に20mm**、**連続雨量で100mm**の雨で土砂災害が起こりやすいと言われています。）
- **自主避難の基準** となる現象が起きていないか、自宅周辺の様子を確認しましょう。



③ 自主避難基準に達したら、町内会役員等に報告し、それぞれがすぐに避難対応！ →状況を共有して町内会みんなで避難対応！



自主避難基準 以下のような状況になったら、自主避難を開始してください。

- **自主避難の基準** が確認された場合（洪水・土砂災害緊急避難地図を参照）
- 地域内のがけや沢で土砂災害の予兆現象（裏表紙に示す現象）が確認された場合
- 釜石市役所が“避難準備・高齢者等避難開始”、“避難勧告”、“避難指示（緊急）”を発令した場合

※上記以外の状況でも避難が必要と思う状況になった場合や、台風接近などで早い段階で大雨が予想される場合においても、身を守ることを第一に考えた避難対応をしましょう。

いざというときの避難対応

遠くまでの避難が困難な場合には、周辺の様子に注意して、身の安全を第一に考えた対応をとってください。

→ **比較的安全と思われる場所や建物**へ避難

なお、すでに道路が冠水しているなど、**移動に危険が伴う場合は、**

→ **がけや沢から少しでも離れた頑丈な建物の2階以上**へ避難

※このような状況になる前に避難を決断することが重要です



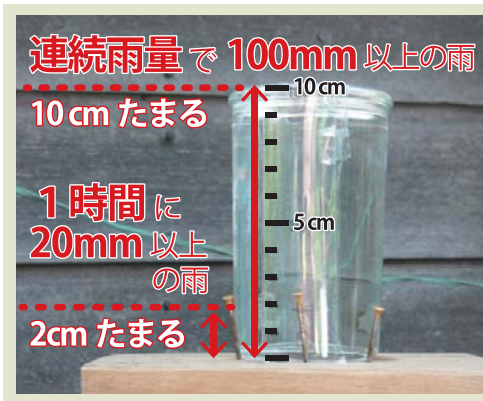
状況によっては
自宅に留まることが最も安全な場合もあります

※この計画は平成29年10～12月に実施した「洪水・土砂災害に対する警戒避難体制の整備支援事業」を通じて、大平町内会として検討したものです。

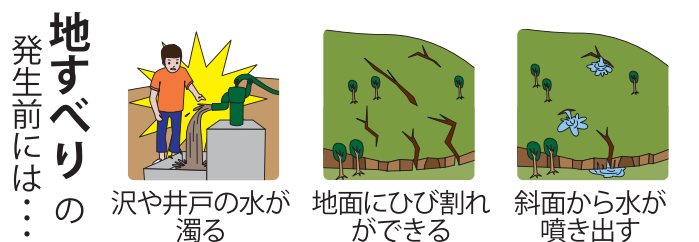
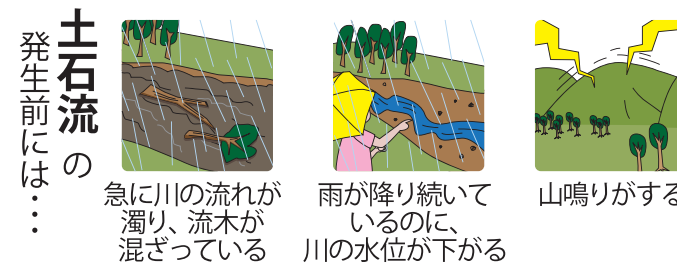
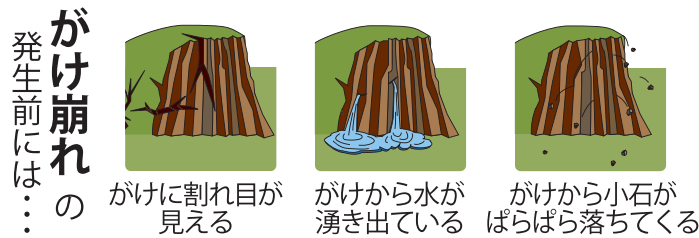
！雨量に注意する習慣をつけましょう

気象予報などを見るときには、雨量にも気を配る習慣をつけましょう。自宅周辺の雨量を測ることで、自宅周辺の土砂災害の危険の高まりを把握しやすくなります。右図の雨量が土砂災害発生の危険が高まる目安とされています。

高さ10cmのカップ酒の瓶を使うと風で倒れにくく便利です



！前ぶれ（予兆現象）に注意しましょう



この他にも…

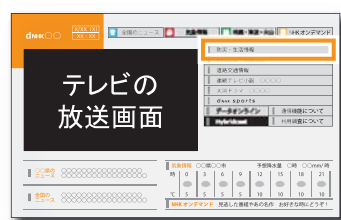
- 地鳴り、木根のちぎれる音、岩の割れる音などがする
- ものの腐ったようなにおい（腐葉土、下肥のにおい）がする
- 小動物が異常行動（騒ぐなど）をとる など

！情報を積極的に収集し、避難対応に活用しましょう



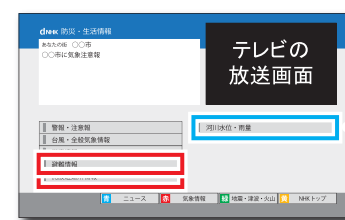
データ放送での確認方法 地デジテレビでNHK（地デジ1ch）を選択し、リモコンの**d**ボタンを選択

① 防災・生活情報を選択



（テレビ画面イメージ図）

② 確認したい情報を選択



（テレビ画面イメージ図）

③ 河川の水位・雨量を確認



（テレビ画面イメージ図）

大平町内会

現在の技術では正確な雨量予測や災害発生地の特定が難しいため、避難勧告等に依存しすぎず、**地域住民自らで危険に気づき、いざというときに避難の判断につなげる**ことが大切です。

住民懇談会で把握した情報

- 比較的安全と思われる場所や建物
- 自主避難の基準
- 大雨が降ると確認されるいつもと違う現象
- 過去に発生した災害
- その他の事柄

土砂災害の危険性

- (岩手県砂防基礎調査結果および土砂災害対策検討図に基づく)
- 土砂災害の危険性が**特に高い**区域 (急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)・土石流)
 - 土砂災害の危険性が**高い**区域 (急傾斜地(がけ崩れ)の崩壊)
 - 土砂災害の危険性が**高い**区域 (土石流)
- 机上調査での結果を示しています。そのため、現地調査の結果によっては、範囲が修正となることがあります。



白山小学校 (校舎西側)

白山小学校の体育館は土砂災害警戒区域内のため避難場所ではない

倒木や落石がある

法面の石垣下から水があふれた(床下浸水した) <平成29年台風18号>

大雨が降ると水が出てトンネルまで流れる(がけ崩れの危険あり)

大平中学校体育館 [洪水・土砂災害緊急避難場所] ※避難時間に余裕がある場合

大平集会所 (平屋建) [洪水・土砂災害緊急避難場所] ※大平中学校への避難経路の通行が危険な場合

大雨が降ると水浸しになる

道路沿いにある大木が倒れかかっている危険である

東日本大震災後、擁壁に亀裂が入り道路もひび割れてきている

側溝が詰まった場合

鹿の獣道が水路になっていて危険である

石垣が崩れた <平成23年東日本大震災>

大木や木の枝などが倒れかかっている危険である(コンパネ等で抑えている)

がけ崩れが発生し通行不能になった <平成14年台風6号>

大雨が降ると排水溝に流木や土砂などが詰まりあふれそうになる排水溝が埋まり水があふれ上流の川幅が広がった <平成14年台風6号>

がけ崩れが発生した <平成29年台風18号> 鹿が移動するため沢沿いが崩れている

【大平の沢】 沢に大きな石等が転がってきた場合

大平の沢沿いの山林に材木の残りがあふれ増水等で沢に流れ込む恐れがある 沢を塞いであふれる恐れがある

がけ崩れが発生し道路が通行止めになった(家屋の被害なし)(鹿の獣道でも崩れた) <平成29年台風18号>

がけ崩れが発生し民家1軒が被害にあった <平成14年台風6号>

濁流が流れ込んだ <平成29年台風18号>